

主な活動内容

①居場所事業 毎週月曜 13:30~17:00
(女子のみ) 毎週木曜 13:30~17:00
switchでゲームをしたり、ボードゲームしたり。トランプ、VR体験、TRPG、おしゃべりやギターレッスンなど様々な「楽しいこと」をしています。

②体験事業（職業体験・ボランティア活動・学習支援）毎週火・他随時
希望する方がいれば、職業体験や保護猫・ゴミ拾い・フードパントリー等のボランティア、ほっと館やめでの学習の支援等を行います。

③学び事業（学習会・交流会・映画上映会・他）
保護者向けの不登校や発達障害関連の学習会、保護者と支援者の交流会、地域社会むけの意識啓発事業として映画上映会、等を行っています。

④進路相談事業（通信制高校等説明会・見学会）
不登校当事者の多くの進路となる通信制高校等の冊子を作成。説明会を行っています。付随して見学会も行っています。

⑤家計支援事業（食料配布・衣服のお譲り）
食品等の無料配布やお譲り服の譲渡等を行います。

活動報告

日々の活動状況はInstagramおよびホームページに載せています。ぜひご覧ください。

https://www.instagram.com/cys_for_kids/

<https://cysforkids.org/>



Instagram



ホームページ

ご利用について

○ご利用開始
新規にご利用を検討される方は、メールかInstagram・電話などでご連絡ください。

○利用料・会費について
利用料や会費は無料です。

連絡先・住所等

○不登校支援部会連絡先
メールかInstagramか電話にてお願いします。
LINEをお持ちの方は、不登校支援部会の公式LINEをお友達登録して、メッセージにてご連絡ください。

メール(ちくご地域実行委員会)
chikugo.chiiki.jikkouinikai@gmail.com
連絡先電話(水田):0942-52-5289



公式LINE

○ちくご地域ユースサポート
住所:福岡県筑後市大字新溝613
電話:0942-27-8432 FAX:0942-27-8434
代表:下川展弘 管理・運営:水田康弘・綾子

ご寄付について

私たちは居場所を通じてコミュニティを形成し、「生きづらさを抱えた人もそうでない人も幸福になれる社会」を実現したいと思っています。しかし、活動の継続には1年で相当額の資金が必要です。活動に賛同していただける方は、活動継続のためのご寄付を頂ければ幸いです。

○寄付方法
施設へお持ちいただくか、もしくは下記ウェブページより寄付可能な金額ボタンをクリックしてご寄付ください。
○cysforkids.org(支援する)
https://cysforkids.org/?page_id=102



支援する

ちくご地域

ユースサポート

不登校支援部会

ってどんなところ?

自宅ではなく、学校でもない、第三の居場所。
堅苦しくない気楽な集いの場。

ここでは、安心して思う存分好きなことができる。

様々なプレッシャーから開放され、素に近い自分のままで、のびのびと過ごせる。

好きなことを、好きなだけやれる。

自分と似た経験を持つ人たちが近くにいる。
たった一人かもしれないけど、味方になってくれる人がいる。
たった一人かもしれないけど、理解してくれる人がいる。
たった一人かもしれないけど、自分がいることで喜んでくれる人がいる。
たった一人かもしれないけど、友だちになってくれる人がいる。

たった一人かもしれないけど、そういう人と一緒に何かできたら、それはきっと楽しい。

保護者の皆様へ

不登校支援部会長 水田康弘

○基本理念

当会は、不登校家族会から出発した互助組織です。安心して好きなことができ素顔の自分で交流できる居場所を作ることで、不登校の第2段階から第6段階にある本人・家族がリラックスして楽しみ、エネルギーを蓄え、新しい気づきや発見をし変化していくことを目的としています。

○理念

「生きづらさを抱えた人もそうでない人も等しく幸福になれる社会」

○使命

「生きづらさを抱えた子どもたちの居場所であること」
 「保護者同士の憩いと助け合いの場であること」
 「様々な”理解”を促進する契機を提供すること」

○大切にすること

「安心して好きなことを思う存分できる居場所」
 「今を楽しむ、自分が楽しむ」

○組織の性質

私たちは互助組織であり、会員全員が今を楽しみ、自己実現できる、そういう組織を目指しています。



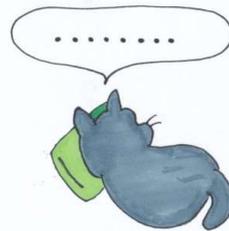
☆まず知ってほしい

不登校の7段階

不登校に至った経緯やお子さんの状態は様々ですが、大きくいうと下記7段階を経ることが多いです。

出典：コミュニティ総合カウンセリング協会

不登校段階 特徴	アドバイス
第一段階 不登校開始期 頭では「いかなくちゃ」 身体は「いきたくない ……」	まずはお子さんの気持ちを否定せずにしっかり聞き、受け止めましょう。
第二段階 悩み苦しむ時期 苦悶するとき 暴れたり怒鳴ったりして感情を発散することもある	昼夜逆転、ゲーム没頭、食事量の減少、入浴しない、歯を磨かない、人を怖がる、部屋にこもる、真っ暗な部屋で過ごす、暴言を吐く、壁に孔を開ける、自分を傷つける、等の行為が出やすい時期です。 本人はとても苦しんでいます。
第三段階 エネルギー補充(無為)期 一日中寝る、部屋(真っ暗な状態)にこもる	こういう状態を否定して無理にもとに戻そうとするのではなく、お子さんのそのままを認め、心から休める環境を整えてあげることがとても大切です。
第四段階 エネルギー再活性期 好きなことをやり始める 昼夜逆転生活	エネルギーが多少溜まってくると、好きなことをする元気が出てきます。その姿を優しく見守ってあげてください。



☆まず知ってほしい

不登校の7段階

不登校に至った経緯やお子さんの状態は様々ですが、大きくいうと下記7段階を経ることが多いです。

出典：コミュニティ総合カウンセリング協会

不登校段階 特徴	アドバイス
第五段階 再活動希望期 「ひまだなあ」 「〇〇しようかな」という発言が出てくる。	第五、第六段階は親にとっても長く感じる時期だと思えます。元気そうに見えるのになかなか動かない！と焦らず、自分から一歩踏み出すのをゆっくり待ちましょう。
第六段階 リハビリ(不安定活動)期 実際に活動を始める 休みながら進んでいく	親が活動の選択肢を示すのも良いですが、何を選ぶかは本人に任せ、強制しないようにしましょう。親もリラックスして楽しめる活動を見つけ、笑顔でいることが大切です。親の笑顔がお子さんの心に安らぎをもたらします。
第七段階 安定活動期 学校やその他の居場所で社会と関わりを持ちながら安定して生活できる	この段階で安定して社会と関わりを持ち、活動を続けられるようになります。 この段階までにかかる時間は人により様々ですが、大抵は長期に渡ります。ですがお子さんは自分を見つめ、自分の価値観を再構築し、納得して歩み始められるようになっていきます。その後の人生で多少の問題が発生しても今後は乗り越えていくでしょう。

